

事例4 推し活×観光

VTuberが観光地を盛り上げる！

事例

4

お かつ
推し活
×
かんこう
観光 2

VTuber が観光地を盛り上げる！

キーワード VTuber, 観光プロモーション

ち ほう じ ち たい 地方自治体が VTuber とコラボするメリットとは？



VTuber が
えいご じょうほうはっしん
英語で情報発信



VTuber が
わか せ だい
若い世代へ情報発信



VTuber のファンが
情報発信

学習のねらい

地方自治体が  と協力して地域の魅力を伝える取り組みについて考えよう。

1. 海外にまで観光情報を発信するVTuber①

宮城県仙台市の仙台うみの杜水族館観光客誘致の一環として、VTuberのがうる・ぐらさんとコラボイベントを開催。
がうる・ぐらさんによる生き物紹介の音声ガイド、ウェルカムムービー、描きおろしの等身大パネルなどが用意された。

1. 海外にまで観光情報を発信するVTuber②

がうる・ぐらは、英語圏向けのVTuberグループ「[ホロライブEnglish](#)」に所属していたことから、生き物紹介の音声ガイドが日本語と英語の両方で収録されている。

1. 海外にまで観光情報を発信するVTuber③

X（旧Twitter）やYouTubeなどのSNSでも英語で情報を発信しているため、海外からの観光客や英語圏のファンにもダイレクトに情報を届けられることができる。

2. 地域密着型のVTuber①

日本国内の特定の地域を拠点として活動する  も増ふえている。

VTuberの春日部つくしさんは、埼玉県
の観光や物産の魅力を発信する「埼玉
バーチャル観光大使」として活躍。

2. 地域密着型のVTuber②

特に反響が大きかったのは、「秩父でバンジージャンプをしながら埼玉のよいところを五つ紹介する」動画。

バーチャルな存在のVTuberがリアルにバンジージャンプを行うというシュールな企画が話題を呼び、動画の再生回数は14万回を突破した。

2. 地域密着型のVTuber③

動画を視聴した人びとが、バンジージャンプが行われた秩父ジオグラビティパークを訪ずれ、その様子をXに投稿。

投稿を見た新たな人びとが春日部つくしさんの動画を視聴するという流れが生まれている。

3. VTuberとコラボレーション するメリット①

地方自治体がVTuberとコラボレーションするメリット

第一のメリットは、観光情報を多くの人に届けることができる点。

3. VTuberとコラボレーション するメリット②

VTuberはXやYouTubeなど複数のプラットフォームで活動しているため、情報をすばやく広めることができる。

また、若い世代をターゲットとした
が展開しやすい。

3. VTuberとコラボレーション するメリット③

第二のメリットは、VTuberを熱心に応援するファンを巻き込むことができる点。

魅力的なイベントを開催すれば、距離や交通の不便さをものともせず、多くのファンが実際に現地を訪れる。

3. VTuberとコラボレーション するメリット④

VTuberのファンは自らのSNSを活用し、イベントの情報や観光地の魅力を積極的に発信するため、新たな観光客の呼び込みにもつながる。

3. VTuberとコラボレーション するメリット⑤

VTuber自身の発信力だけでなく、ファンの発信力も観光プロモーションにおいて重要な役割を果たしている。

WORK①

地方自治体がVTuberを起用して行った、観光情報の発信やコラボイベントについて事例を調べよう。

Advance①

あなたの住む地域ではVTuberを活用してどのような情報発信ができるか考えてみよう。

WORK②

観光情報の発信をVTuberと実在する人が行う場合の違いと共通点をベン図で整理しよう。

それぞれの強^{つよ}みや弱^{よわ}みだけでなく、どのようなチャンスや広^{ひろ}がりがあるか考^{かんが}えてみよう。



Advance②

WORK 2を参考に，なぜVTuberを起用する地方自治体が増えているか考えてみよう。

WORK③

観光情報の発信にVTuberを起用することのデメリットとその解決方法について話し合ってみよう。

Advance③

観光情報を発信するVTuberに求められることは何か話し合ってみよう。

WORK④

本文やこれまでのWORKをもとに、VTuberによる観光振興が今後どうなっていくか、現時点でのあなたの考えをステップチャートを使ってまとめよう。

あなたの考えに^{がいとう}該当する
ほう^{ほう}方に○をつけ、理由^{りゆう}と今^{こん}
ご^ご後の^よ予想^{そう}について^き記入^{にゆう}し
よう。



Advance④

グループで意見交換を行い、もう一度自分の考えを整理してみよう。